

目次

温泉を活かして(片山津温泉の取り組み) 片山津商工振興会	1
わが商店街(まち)のお宝物 約80年ぶりに蘇った販促品・・・「片町行進曲」(金沢市) 「商い文化」を高度情報で表現(金沢市)	2
平成17年度第1回全国商店街青年部指導者研修会	3
七尾駅前通り商店街振興組合から ～「七商祭」へのおさそい～	
プレミアム・バスポート事業協賛企業募集	4
～あなたにもできる「商店街活性化分析」～試してみよう こんな制度ご存知ですか?	

編集発行 石川県商店街振興組合連合会
〒920-0918 金沢市尾山町9番13号(金沢商工会議所内)
TEL (076)222-8779 FAX (076)222-8779
県振連メールアドレス
isirengo@sky.hokuriku.ne.jp
商店街賑わい創出に関する掲載原稿、
ご意見、ご感想などお待ちしております!
本誌は環境保護のため再生紙を使用しています

温泉を活かして(片山津温泉の取り組み)

私達、片山津商工振興会では、昨年度より片山津商店街活性化構想策定事業として、金沢大学理学部地球学科の田崎教授をはじめ多数の先生方と共に「片山津温泉e温泉プロジェクト」と題して、当地の魅力と名産品の発掘に取り組んでいます。

中でも片山津の源泉を使った「温泉豆腐作り」と柴山潟の湖底土を使った「泥染め」が好評です。温泉豆腐は片山津温泉の塩分やマグネシウム等の成分と豆乳とがうまく固まり塩味の温泉豆腐が簡単に出来上がります。「泥染め」はTシャツやスカーフなど



泥染め

と与謝野晶子さんが詠んだ句の色と同じ色合いに染まり、別名“晶子染め”と名付けられています。

これに加え、湖底土を使った焼物を金沢美術工芸大学の学生さんや地元の陶芸家の協力を得て試作していただきました。さらには、柴山潟で真珠の養殖が出来ないか検討するため、琵琶湖へ視察と研修を行いました。これは温泉に来られたお客様に自分の真珠貝を購入していただき2～

3年後に自分の真珠貝を取りに再び温泉に来ていただく事を目的に企画したものです。

このように、片山津温泉の恵まれた自然と環境を基に今までになかった発想で提案し、これを機に少しでも地元活性化の起爆剤になればと思っています。これからの温泉地として観光地として生き残るために他の温泉地との差別化を図り、片山津温泉だけの特産品をアピールして行きたいと思っています。



にがりいらず「源泉豆腐」

片山津商工振興会

わが商店街(まち)のお宝物

約80年ぶりに蘇った販促品・・・「片町行進曲」(金沢市)

♪モダン片町 光のちまた 並ぶ店々 ショウウインド
何を買ひませう うれしい人に 贈る思ひの胸がなる♪

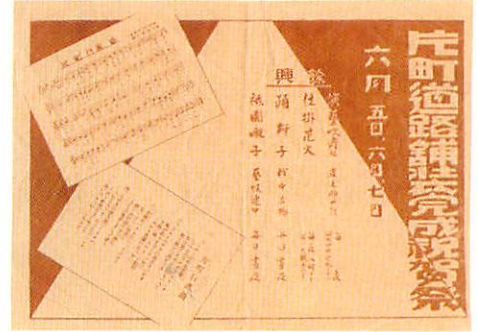
不景気風が全国に吹き狂った昭和初期、片町振興策として一般から公募した「片町行進曲」が約80年の歳月を経て蘇りました。と言いますのも、去年の暮れにこの曲の楽譜が小立野の半田内科医院方で見つかり、楽譜を基に歌をテープに吹き込み当組合に贈られたことを機に、片町の販促品として再び活用されました。

商店街の古い写真をデジタル化して展示し、古き時代のレジや木製の看板、戦前のチラシなどを各店舗から収集して展示会を開催したり、同時期に老舗扇子店からレコードも発見され、手巻き式の蓄音機で鑑賞会を催したりと、先人の成し遂げた販促活動の意欲も蘇って、今年は「温故知新」の理を元に、様々な催しで活用する予定です。曲は4番まであり、近代化が進みアスファルト舗装されたばかりの道を歩く靴音や、チンチン電車が走っていたネオン街の様子など、当時のハイカラな商店街文化が彷彿され、町への愛着が更に深まる歌です。

一等(五十円)で入選した柿木島 喜多キク子さんに感謝の念を申したいところです。

数十年も生き続ける販促品のことを考えると現在の販促活動にも精が出ます。皆さんの街でも百年後に掘り起されるお宝販促品が誕生するかもしれません、ネ。

片町商店街振興組合 事務局長 橋本 亜矢子



片町道路舗装完成祝賀祭のチラシ

「商い文化」を高度情報で表現 (金沢市)



尾張町は、加賀藩祖の前田利家公が尾張名古屋(名古屋市中川区荒子町)から連れて来た末裔の住む町といわれています。戦国時代の当時、力を増していた者にとって信頼できる者は、血がつながっている(血縁)か、同じ釜の飯を食った者(地縁)かしかおらない状態でした。尾張町商人はそうした中、力は強くないが利発な知恵をもって利家公に重宝がられて、ついに金沢の地にお殿様と一緒に来たようです。

以来、江戸時代を通じて御用商人としての役割を担い、明治維新からは陸軍第九師団の用向きを一手に担う特需商人として、連綿と続いて来ました。ただ、第二次大戦の後はお城との経済的交流の空白が生じ、尾張町から“終わり町”とまでいわれる程に低迷していたのも事実です。

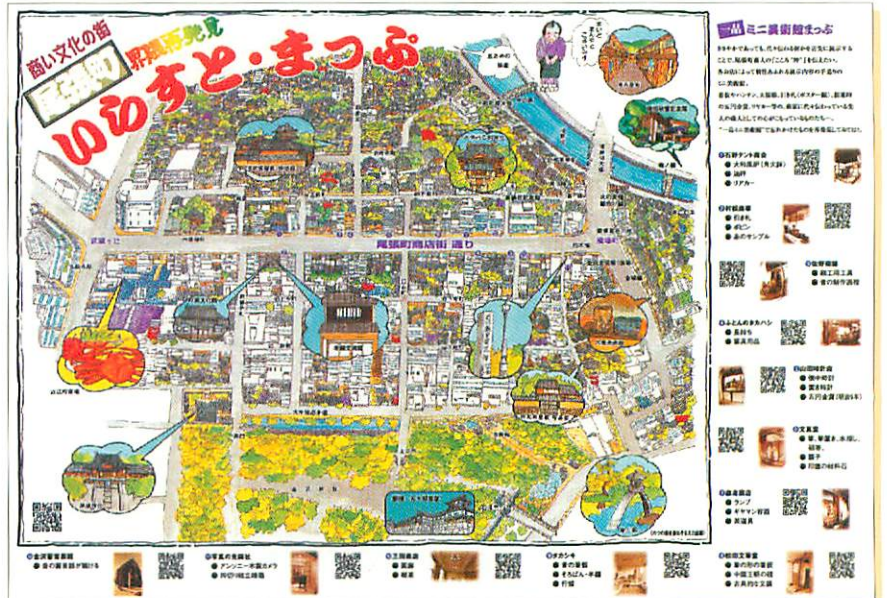
一方、前田家の徳川家に対する文化政策を実践する先方となっていた実績が、いつしか「商い文化」となって熟成されていたのも事実です。

近年の尾張町は、こうしたことを踏まえ、商いの本質、商いを通じた文化を「街のブランドイメージ」として発信しています。いわば、忘れかけている古い基本的なものを再認識し、かつ、それを最新の高度情報技術で発信する。ただし、一度発信したものは「続けること→継続すること→終わらないこと」を信条とするため、逆に続けにくいものは見栄を張らずに最初から発信しないことにしています。言い換えれば、格好の良い打ち上げ花火でなく、線香花火でも良いから続くものを優先する姿勢です。

今回発行した“尾張町物知り絵図”は、以上のバックボーンを踏まえて作成されています。

- ・ 絵柄を手書きにすることで親しみやすさを
- ・ 裏面に街の由来などを書くことで歴史文化を知ってもらう
- ・ 個々の店の商品PRを一切入れずに、商店街を前面に表現
- ・ 街の文化資産である「一品ミニ美術館」を主体に
- ・ QRコードを入れることで、携帯電話の情報化に対応

絵図は、尾張町商店街振興組合を訪れて戴いた方が希望すれば、全員に老舗交流館でお渡ししています。QRコー



ドへの対応は、どこのメーカーの携帯電話でも対応していますし、その情報の中身は必要に応じて書き換えられるように、QRコードのリンク先で変更可能になっています。

QRコード読み取り

→パソコン版各一品ミニ美術館ページ

→各社のボタンを選択

→携帯各社毎の専用一品ミニ美術館ページ（※ここで中身を随時変更可能）

こうすることで、固定したQRコードから、柔軟な情報発信が出来るような対応を持つことで、常に時代に先駆けた姿勢をとれるように心がけています。是非、機会あれば尾張町を訪ねてみてください。

尾張町商店街振興組合 専務理事 石野 瑠一

平成17年度第1回全国商店街青年部指導者研修会

本年度第1回の研修は、全国で一番元気があると言われている愛知県は豊田市で行われました。豊田と言えばやっぱり世界に誇れる「トヨタ」を抜きには語れないということで、初日はトヨタの工場見学から始まりました。世界一とも言われるようになったトヨタの生産工程を見ながら、高品質な車を無駄なく作り上げる裏の部分を見ることで、トップ企業の凄さと、簡単そうに見えるがなかなか大企業では実行できないことをすぐに実行に移す小回りの速さで無駄を省く努力をしているのが感じ取れました。

いざ、工場に入ってみると、本当に自動車工場かと疑いたくなる位によく整理されていました。順に進むと生産ラインが良く見える所へ。生産されている車をよく見ると何か違うことに、最初は同一車種でもグレードが違う車が生産されているのかと思いながらも良く見ると、大きさが違う車や形が違う車が次から次と回ってくるのです。普通の製造過程では一つのラインでは一車種しか作れないのに対し、トヨタの場合は数種類の車を同一ラインで作りに上げていくトヨタ生産方式という製造工程を用いているからだそうです。これは、工場にも市場に対しても無駄な車は作らないといった完全受注生産で高品質の車を一台一台作り上げていこうといった理念からきているのだと感じました。

また、製造にかかる部品も使用分だけ、その日の生産分だけを無駄なく下請けから仕入れるシステムで生産をしているとのこと。これは《カンバン方式》と言われ部品箱についているカンバンがはずされ回収箱に入れられることで部品がなくなったことを業者に即座に知らせ時間の無駄をなくしています。また不良品を次の工程に流さないための《ひもスイッチ・あんどん》の利用、これは自分の持ち場の工程が時間内に完了出来ない時や何か不都合が生じた場合、自分の持ち場の頭上に張られたひもを引っ張るとあんどんにランプが点滅します。それによってラインの長に対しヘルプを求める場合や助言をもらうことでラインを停止させないように工夫されています。また従業員が使っている部品の入ったワゴン台車は、社員の知恵で常に使いやすいように年々進化しています。このように従業員の意見は年間7千以上に寄せられ、いいものはすぐに採用されるシステムとなっておりアイデアを出した者には表彰制度等があり社員の励みとなっています。生産性の向上には常に努力し、無駄なく高品質を作り上げる取り組みが世界のトヨタを支えているのではないのでしょうか。



トヨタ工場見学



楽器演奏ロボット

香林坊商店街振興組合 青年部長 兩坪 毅樹

七尾駅前通り商店街振興組合から ～「七商祭」へのおさそい～

- 1 日時 平成17年10月1日（土）午前9時30分から午後8時（少雨決行）
- 2 ところ 七尾駅前リボン通り商店街、マリパーク（食祭市場横）
- 3 イベント ○オープニングセレモニー
園児による鼓笛隊パレード、園児や一期一会たちによる「よさこい流し踊り」
○リボンバザール
○リボン市場（屋台村）・模擬店
七商高による特製「ピザかまぼこ」の販売
○七尾農高による農作物・加工品販売
○「七商よさこい」踊り ライトアップでステージ競演

7月10日（日）には、「第37回七夕まつり・写生大会」がありました。

街中に七夕が風によって心地よく舞っていました。

「リボンロード」の愛称で親しまれている当商店街振興組合は、「ハートをむすぶ七尾駅前リボン通り」のとおり来街者のところに届くおもてなしのところがさりげなく表現されていました。

プレミアム・パスポート事業協賛企業募集

歯止めのかからない出生率低下1.29人。少子化対策の目玉商品として子育てを地域社会全体で支援していくことを基本として、企業の子育て支援に対する意識の醸成をはかるとともに多子世帯の経済的負担の軽減をはかるため全国初事業として実施するものです。

協賛金 店舗単位で年間1口5000円以上

募集 第2次 8月から10月

開始 平成18年1月1日から

メリット ○オリジナルステッカーを発行

積極的に取り組んでいる商店として社会的イメージアップ。

○商品、広告、パンフ等にシンボルマークとして利用できる。

○プレミアム・パスポートをもつ家庭に協賛企業の情報が発信されるため利用促進がはかれる。

○いしかわ子育て支援財団のホームページで子育てにやさしい企業として紹介される。

○財団の「子育てバリアフリーマップ」に店舗が掲載される。

申し込み 石川県健康福祉部少子化対策推進室

電話 076-225-1412

子育てにやさしい企業推進協議会（事務局：財団法人 いしかわ子育て支援財団）

電話 076-262-1530

～あなたにもできる「商店街活性化分析」～試してみよう

全国商店街振興組合連合会では、平成15年度に実施された中小企業庁の委託事業「商店街実態調査」結果にもとづき、簡易に自己分析することのできるシステムが構築されました。

○自身の商店街の活性化が全体的に把握することができます。

○下記について全国の商店街平均と比較することができます。

・商業環境、個店の活性化、商店街組織の活性化

・来街者が快適性や利便性を感じる商店街の設備等のハード事業の充実度

・来街者が魅力を感じるイベント、スタンプ等のソフト事業の充実度

○利用方法

・全振連ホームページで検索してください。（<http://www.syoutengai.or.jp/>）

・「商店街活性化簡易自己分析システム」をクリックしてください。

・21項目の質問にお答えください。

・総合得点、評価・活性化、コメント、カテゴリー別評価が表示されます。

○平成18年度には、この「簡易自己システム」の改良版（個店の改善等）が予定されています。

こんな制度ご存知ですか？

○企業連携支援アドバイザー派遣事業

○中心市街地活性化タウンマネージャー派遣事業

○商店街活性化シニア・アドバイザー派遣事業

○商店街事務局強化アドバイザー派遣事業

これらは、独立行政法人中小企業基盤整備機構（地域・連携推進グループ）（旧中小企業総合事業団）が行っている事業です。

高度化事業の円滑な推進、商店街の活性化、物流効率化によるコスト削減などを図るため専門家を地域に派遣しアドバイスをを行っています。

こんなときには「商店街活性化シニア・アドバイザー派遣事業」の活用を。

商店街に来客数を増やしたい。“効果的なPR方法は？”、“商店街のイメージづくりのポイントは？”など、商店街活性化に関し様々な知識・経験・ノウハウを持つスペシャリストによるアドバイスが無料（派遣累計日数7人・日まで派遣費用無料）で受けることができます。

お問い合わせ 独立行政法人 中小企業基盤整備機構（地域・連携推進グループ）

電話 03-5470-1533

インターネットでも検索できます。（中小企業基盤整備機構一経営支援）

おわびと訂正

山代温泉通り商店街振興組合が開催する「夏祭り」の日程が次のとおり変更となりました。

8月20日(土) 21日(日) → 8月27日(土) 28日(日)

加賀市と山中町が10月1日に合併されることにともなう祝賀イベントが行われることとなり、当商店街振興組合の「夏祭り」は、翌週に変更になりました。

組合員の皆様におわび申し上げますとともにご参加をお待ちしております。